

そなたのココロ  
に落書きを



korto-darma

## <ラララ>

---

ラララ、あなたに。  
ラララ、あなたと。  
アララ、あなたも？  
ラララ、あなたへ。

ラララ、あなたを。  
ラララ、あなたは。  
アレレ、あなたが？  
ラララ、あなたで。

<あ・・・な・・・た。>

---

- ・あいたくて、あいたくて  
なぜかあいたくて、  
ほかに何も考えられなかった。
- ・あしたのいのち、  
なんともいえず、  
ただそばにいただけだった。
- ・ありがとうと、  
なんと言っても、  
まだ足りなかった。

## <いつでも>

---

いつでも貴方に夢を、  
いつでも貴方に力を、  
いつでも貴方の目の前にいるから。

いつでも貴方に笑顔を、  
いつでも貴方に感謝を、  
いつでも貴方の直ぐ前にあるから。

## <っている>

---

きみに届けたいものは、  
きみの中でまだ眠っている〇〇〇。

きみに届けたいものは、  
きみの中で遊びたがっている〇〇〇。

きみに届けたいものは、  
きみの中でただ思い願っている〇〇〇。

<道>

---

こ　　生　　　　　　真っ直　　ぐで　　　　　　た  
れ　で　き　　道が　　は　　な　は  
ま　　て　た　　　　　　な　　あ　　気付　　る。  
　　　　　　来　　　　　　かった　　に　　い　　い  
　　　　　　　　　　　　こと　　　　　　て

## <ほんもの>

---

- ・あなたは、ほんものです。
- ・あなたは、誰が何と言おうとほんものです。
- ・あなたは、何処で誰が何と言おうとほんものです。
- ・あなたは何時何処で誰が何と言おうとほんものです。  
.  
.  
.
- ・あなたは . . . . . 何 . . . . . とほんものです。
  
- ・何故なら、あなたでいることに意味があるからです。

## <ふり>

---

- ・ 貴方は喜ぶふりをしないで。
- ・ 貴方は哀しいふりをしないで。
- ・ 貴方は怒ったふりをしないで。
- ・ 貴方は酔ったふりをしないで。
- ・ 貴方は善人のふりをしないで。
- ・ 誰も貴方のふりはしないよ。



## <年後>

---

- ・ 1 年後、貴方は少し変化する。
- ・ 1 0 年後、貴方は別の場所にいる。
- ・ 1 0 0 年後、貴方は大地に帰ってる。
- ・ 1 0 0 0 年後、貴方は先祖となっている。
- ・ 1 0 0 0 0 年後、貴方はまだ地球の一部。
- ・ 1 0 0 . . . 年後、貴方は太陽と一体になる。
- ・ 1 0 0 0 . . . 年後、貴方は太陽系から脱出する。
- ・ 1 0 0 0 0 . . . 年後、貴方は星になって光り出す。
- ・ 1 0 0 0 0 0 . . . 年後、貴方はまだ始まったばかり。
- ・ 1 0 0 0 0 0 0 . . . 年後、貴方はまだまだ続いてゆく。

## <最短歌>

---

・君命咲。

YOUR ACTIVE LIFE.

・美魂君。

YOU, GOOD SOUL.

・貴方命。

YOUR GIVEN LIFE.

・君真心。

YOUR NAKED HEART.

・人愛君。

YOU LOVE HUMAN.

・真君実。

YOUR TRUTH.

・貴生様。

YOUR WAY OF LIFE.

・お前好。

I LIKE YOU.

・君輝瞳。

YOUR BRILLIANT EYES.

・生君死。

YOUR BIRTH & DEATH.

## <オノマトペ>

---

- ・あなたのココロのカケラがコロコロとコロがっていく先に、  
ココロのカセキがアチコチにコロがっている。
- ・あなたのココロはときどき、ときどきするし、  
ときにはブランコに乗って、キーコキーコしている。
- ・けるけるとカエルが鳴く夜に、  
けるけると貴方の携帯も鳴いている。

P.S.

<http://24.dtiblog.com/k/kortodarma/file/20110401215956.mp3>

<っと>

---

もっともっと喜びと楽しみが貴方に与えられたなら、  
あっという間に悲しみと絶望が貴方をさらったとしても、  
きっと希望と勇気が、貴方を取り戻しにくる。

## <こそ>

---

貴方だからこそ  
貴方の世界を生き、

貴方だからこそ  
貴方の故郷は懐かしく、

貴方だからこそ  
貴方の証しは確かなものとなり、

貴方だからこそ  
貴方の居場所に帰る。

<木>

あなたは、こころに海をもち、  
そのこころの底に故郷があり、  
そのこころの中に木々が芽吹き、  
そのこころの原っぱに花々が咲き誇る。

そして、  
あなたの木にはあなたの実がなるでしょう。

と  
ある  
村の  
外れに

アタタの  
木があって、  
嵐が来るたび  
傾いて倒れそうに  
なるのをアタは、何度  
も真っ直ぐにしなければ  
ならず、それでも木はます  
ます大きくなってゆき、アタに  
支えられ続けておりましたが、ある日  
のこと、木  
が倒れたに  
も関わらず、  
でくのぼう  
の木に大き

な雷が落ち  
たおかげで  
アタの村が救  
われたことに、  
誰ひとり気が

付かなかったとき。

地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地

## <やかに>

---

- ・あさはさわやかに。
- ・ながくゆるやかに。
- ・たえずはれやかに。
- ・もっとしなやかに。
- ・こころすこやかに。
- ・いつもはなやかに。
- ・よるはのびやかに。

## <冬春夏秋>

---

長く厳しい冬を経て、あなたはさらに優しくなる。

春は貴方が待ち望んだものを連れてやってくる。

貴方が夏にかく汗と流す涙は、乾いて空に消えていく。

秋はあなたの心に確かな実りをもたらす。



## <この夜に>

---

天の星々は瞬き、

---

あなたに届く光は、

---

その魂にしみわたり、

---

まどろみの中で安らかに御子は微笑む。

---

## <自己暗示>

---

貴方は鏡に向かって、

アンタなら**できる!**

今日の貴方は**最高!**

# 君に万歳!

と口に出していう。

## <地上>

---

貴方はこの地上に生を受けている限り、  
大いに笑い転げ、  
大いに泣き叫び、  
数多く感謝のコトバを身近な人に発することです。

## <裏側>

---

昨日の夢は儚く消えて、  
今日の想いは叶わずとも、  
微かな望みを捨てずに生きる貴方。  
全ての愛しみを、その笑顔の裏側に隠しながら。

## <黒い鳥のいる麦畑>

---

3本の道があって、

その1本はアナタがこれまで歩いて来た道であり、

別の1本は怪しい鳥の群れ飛ぶ、アナタの進む道であり、

残り1本は誰もが行きたがる無難な道でありました。

## <シャボン玉>

---

吐息が丸くなってから、あなたのところまで漂っていく。

その中にコトバが詰め込まれていたなら、

玉が突然、あなたの目の前でハジケタとき、

「ご機嫌いかが？」とか何とか言って挨拶する。

<点>

---

・その一瞬、あなたの目は、

目  
目目目  
目  
目目目目目目目  
目 目  
目 目  
目 目  
目目目目目目目  
目 目 目 目  
目 目 目 目 になる。

## <日暮れ>

---

この世のなごりと見る雪は、  
真白に冷たく降りかかり、  
遠き昔の君のこと、  
思い出してはみたものの、  
いつものように日は暮れる。



あなたと初めて運命の場所であ会った奇蹟は、  
再び生まれ変わる確率より小さかったかも知れないけれど、  
ふざけ合っている時間が何よりもゆったりと流れていく間、  
胸の奥の熱い思いがお互いの沈黙の中ですら、  
二人にとっては永遠に感じられる不可思議に包まれてゆく。

## <最愛なる貴方へ>

---

貴方とふたりで旅をした日々は既に遠くなり、  
今はもう振り返ることもなくなりました。  
あなたも変わっていったことでしょう。

貴方が気づくのをずっと待っていました。  
ほんとうの心を知ったならば、それはもう貴方の中で確かに息づいています。  
これからはもう心配ありません。

<タンポポ>

---

いけ！  
ために！  
咲かせる  
花を  
希望の  
から！  
あなたを  
くれる  
導いて  
優しさ  
風の

って、  
んで  
飛  
で、  
い土地  
新し  
が

風 の  
に  
風 の

## <不思議>

---

- ・いのちとは、  
この世界にいる貴方の、  
儚くもまた、不思議な時間。
- ・不思議の国からキミへの贈り物は、  
夢うつつの中で、  
忘れたかけていた一瞬の思い出となって届く。

<核平気でない国に暮らす君へ>

---

あ な た な ら た っ た ひ  
。  
と  
る ひ と は り  
き み で  
で あ ん た も  
が な 友 な  
と 貴 方 々 の 達 に  
こ か  
る げ あ て し に と ひ を

- ・いつまでも、変わりなき日のモトで暮らす人。  
ヒマもなく、スレチがい、過ぎ去りし日々。  
別れは、トツゼン音も立てず、やってくる。  
貴方は、戻れぬ夢の国へ旅立った。  
ココロの冬、星ふる夜。  
何もかも失って、悲しみも涸れ果てた。  
顔上げて歩み出す、明日への道。

## <思い出>

---

悲しいときには、あなたの笑顔を思い出し、

嬉しいときには、あなたへの感謝を思い出し、

苦しいときや辛いときには、あなたのコトバを思い出す。

## <たいへん>

---

たいへんだ、あなたになるのはたいへんだ。

たいへんだ、あなたでいるのはたいへんだ。

たいへんだ、あなたをしるのはたいへんだ。

たいへんだ、あなたといるのはたいへんだ。

## <たいん>

---

- ・会いたいんよ。  
笑いたいんよ。  
あんただって。
- ・泣きたいんよ。  
喚きたいんよ。  
あんただけで。
- ・愛したいんよ。  
恋したいんよ。  
あんたのこと。



真っ赤な嘘と知り、あなたは真っ白。

段々あなたは橙の数を数えなくなっていく。

黄門さまはアナタの味方。

その時、貴方は緑青が生えた銅像と化した。

青色吐息と君の確定申告。

藍より青し、あなたの想い。

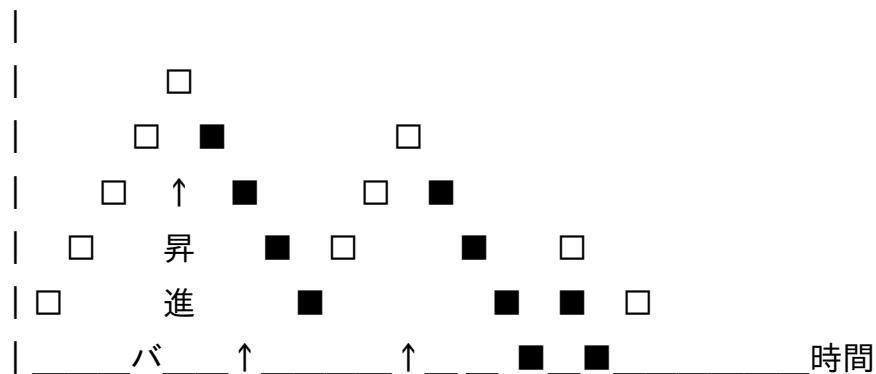
紫陽花と、雨に佇む貴方の姿。

な と 手  
る 相  
の 、て い  
は い し わ  
、 の と ご  
あ ち た て  
な を 運 れ も  
た 賭 命 が ま と  
自 け と た こ っ  
身 て い な き も  
で そ う あ 巻 、  
あ の 大 に き  
る。 運 き 渦 と  
命 な る  
と す  
対 決

# <株価>

・いつの世も、あなたの価値は変わらない。

あなたの株価



ブルバ ↑ 庭 ↑ 崩壊  
サ ラ リ ヲ | マ ク シ ャ ャ  
老 シ ャ ャ ャ ャ  
何 だ か 不況  
い る シ ャ ャ  
サ ャ ャ ャ ャ

## <ピラミッド>

---

・全身と心を調和させるファラオは貴方。

君

きみ

あなた

貴様の顔

見かけ上の君

貴方の〇〇の心理

君の欲望と傲慢と虚栄

貴方の本能と魂と深層心理

## <救い>

---

あなたは、救われたいと願う。

あなたは、ほんとうに救われたいと願う。

あなたは、ほんとうにココロから救われたいと願う。

あなたは、ほんとうにココロから誰かに救われたいと願う。

救われたいという願いがあなたを救う。

P.S. 誰が救われるかって？ それは貴方かも知れない。

## <中にも>

---

---

寂しくなるときには、あなたの中にも風が吹くという。

苦しくなるときには、あなたの中にも雲が懸かり、

悲しくなるときには、あなたの中にも雨が降るし、

嬉しくなるときには、あなたの中にも虹が出るという。

# <アナタ>

---

<ア> メニモマケズ

ん

と <ナ> ミダヲコラエテ

き ん

は と <タ> ダヒタスラニ

か す

か

っ

た

いま、あなたのそ

の

っ

な ぶ

ひ ら

と

み

う

そのひとみでとおい

の

か

な

た

へ

と

な お も い

ん を

ど は せ て

い

る

の

か  
?

これから君は、け  
っ  
あし  
きて  
ら  
め  
ない  
いで

この  
の  
しんぼうづよく  
いきよ  
に  
いき  
る

なるくろ  
か  
う  
が  
これから  
お  
こ  
ろ  
う  
と



そなたのココロに落書きを

<http://p.booklog.jp/book/22848>

著者 : korto-darma

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/korto-darma/profile>

発行所 : ブクログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/22848>

ブクログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/22848>